

# ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

2/1 (火)

## 垣見隧道開通

開通式が開催され、市長・県知事など関係者約30名が出席。テープカットの後、警察・消防車両の走り初めが行われました。



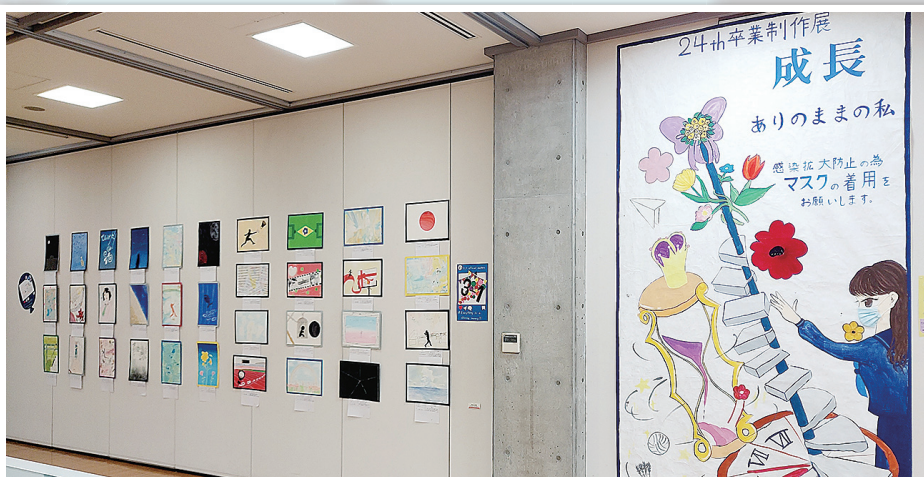
2/26~3/6 (日)  
10:00~18:00

## 第24回 能登川中学校卒業制作展 成長～ありのままの私～

### スポット展示 きらめく先輩 ～チョークアートの世界へようこそ 萩原千尋さん～

■場 所：能登川博物館

■主 催：東近江市立能登川中学校 美術科、能登川博物館



NO. 90

発行日：令和4年4月1日

発行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部

〒521-1205 東近江市躰光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内

電話 050-5802-2793 (平日のみ) FAX：0748-42-1556

E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp http://notomatikyo.com/

## 新年度のごあいさつ



令和4年2月1日、「垣見隧道」(東近江市垣見町)の車道の共用が開始されました。旧来の隧道は狭く、普通車同士でさえ離合が困難で大変不便(危険)であったため今般の開通は、能登川地区だけではなく、東近江市民やこの地を訪れる人々に安全快適を提供するものとなりました。ご尽力いただきました関係者に深く感謝申し上げます。

一方、新型コロナウイルス感染症の流行が始まり昨年2年、現在は変異株オミクロンによる第6波の襲撃をうけております。ワクチン接種も進み、重症化率は低いようですが、社会生活に多大な影響を与えております。いかに人類が脆弱な仕組みの中で安穩と過ごしてきたかを思い知らされた気がいたします。自分の生活圏内で思わぬ危険が潜んでいたかを…であります。

また、自然災害も大雨・台風・地震等いつ襲ってくるかもしれません。当協議会が昨年末に能登川地区中学生以上の2万人を対象にご協力いただいたアンケート調査の中でも、能登川地区は自然災害が少ないという利点を挙げておられる意見もある反面、今後は今ま

でのようにはいかない、少子高齢化の中では災害は怖いとのご意見も多々ありました。安全・安心のため防災減災の備えも必要必須ではないでしょうか。

さて、指定管理しております能登川コミュニティセンターでは、4月から木下勉館長に代わり、清水保館長が就任しました。教育・学術・文化・まちづくりに関する各種事業等々の推進はもとより、当館も災害時の避難所として指定されており、災害時には地域住民のお役に立てるよう、日々準備怠りなくより一層努力してまいります。

まちづくりは行政や住民の一部が頑張れば良いのではなく、全員参加の活動であります。お互い様、お陰様の気持ちが住みよい地域を創るものと考えます。目立たないところで地域を支えておられる方々を拝見するたびに自然と頭が下がります。能登川地区にはそのような方が多くおられることが誇りであり、今後ともその良さを大切にして参りたいと願っております。

(一社)能登川地区まちづくり協議会  
会長 藤居 正博

## 防災・減災あれこれ

緑が丘自治会では、結成11年目を迎えた自主防災会が、昨年11月28日(日)今回初めて「避難所運営訓練」(HUG)を実施しました。毎年、「避難誘導訓練」として、あおぞら幼児園駐車場に集合、草の根ハウスまで避難する訓練をしていました。しかしマンネリ化とコロナ禍で実施方法を模索の中、誘導班・情報班・救護班の役割を担う自主防災スタッフ8名が、災害時にどう動くどう動けるかを体験・検証してみようということになりました。

5月に準備を始め、9月の会議で役割毎の作業や当日スケジュールを具体化しました。テーマは「自主防災スタッフの役割と避難所運営体験」に決まり、コロナ禍でもあり3密を避けるため参加者を20名程度に制限、草の根ハウスを大規模避難所に見立て、より安全を期して朝の時間に「避難レベル3発令」を想定して訓練を開始しました。担架を使うこと、実際の要支援者に協力していただくことは、安全上問題があるとしてやめました。また、避難者に足の不自由な障がい者役や知的障がいのある高校生役、足を骨折した人や幼稚園児役、老人役、乳児連れの母親役等を設定し、スタッフと避難者の役割名を胸に貼って動きました。また草の根ハウスでは台所を授乳室に見立て、授乳体験やトイレなども含めて部屋名を掲示し臨場感を出す工夫をしました。

当日は、まず自治会長から自主防災会長に避難指示を発令し、その後自主防災会長が情報班に、情報班が誘導班に伝え、朝8時に防災無線で「避難所運営訓練」開始を自治会員に呼びかけました。スタッフが直ちに草の根ハウスに集合し開設の立札や受付、資器材の準備等行い、誘導班が支援の決まっている避難者役宅へ向かいまし

た。情報班もその手伝いと避難所情報を自治会掲示板に貼付していきました。

受付は自治会長と自主防災会長の役。あらかじめ用意した避難者一覧に書き込み、避難者の状況に合わせて避難所(草の根ハウス)の席割、段ボールパーティションの配置等を決めました。毛布の配給等、可能な限り避難者の要望を取り入れました。そして全員が避難し落ち着いてきた時に、避難者の中で動ける人が自主的に水や非常食の配膳等を誘導班や情報班と一緒にやってくれました。救護班もケガの手当てや具合の悪い人の救護を本番さながらにやってくれました。(皆、なかなかの役者だな…と感心しました。)

最後に、非常食のカレー・ピラフ・五目御飯等を食べながら、車座になって今回の訓練を反省しました。訓練を傍観頂いたまちづくり協議会安全・安心部事業部長の今井陸之助氏から講評を仰ぎ、且つ、避難者役の方々からも良い体験ができたと高評価をいただきました。

「近隣付き合いが大事であり、何かの時は頼りになるし、頼りにする(頼りにもされたい)」との感想が多く、盛り上った振り返り会となりました。



■能登川地区防災・減災連絡会  
村西 宏

# ちょこっとバス・タクシー 大中線・ドリーム城東線 が便利になります

4月1日(金)から下記の路線で運行内容が変更され、更に便利になります。(運賃は今まで通り200円で利用できます。)

## ◆ちょこっとバス 大中線 (大中 ⇄ 能登川病院)

大中始発(7:00)のみ…山路・伊庭・伊庭西の3停留所を経由しないショートカットで運行されます。

現行の能登川病院 14:40 発を10分繰り下げ 14:50 発

現行の大中 15:25 発を10分繰り下げ 15:35 発とし、能登川北小学校児童の下校に便利なダイヤになります。

**土日祝をちょこっとタクシーとし、予約時のみ運行されます。(※予約の仕方)**

## ◆ちょこっとタクシー ドリーム城東線 (ドリームハイツ集会所 ⇄ 城東東)

山路・伊庭・伊庭西3停留所が追加されます。(所要時間は変わりません)

\*滋賀第一交通株(電話:0120-377-535)へ、各便始発場所時刻の30分以上前(早朝の第1便は前日)に予約し、予約した時間に停留所で待ちます。

## ◆定期券

既存の1カ月乗車券に加え、割引率の高い3カ月・6カ月券の販売も開始されます。

新規購入時は7日前(継続時は、14日前)から事前購入することができます。

定期券は、市公共交通政策課・近江鉄道株八日市営業所・能登川地区まちづくり協議会等で販売しています。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

時刻表は、4月以降に各戸に配布されます。

|        | 1カ月    | 3カ月     | 6カ月     |
|--------|--------|---------|---------|
| 大人(一般) | 6,000円 | 17,000円 | 32,000円 |
| 学生     | 4,500円 | 12,700円 | 23,800円 |
| 子ども    | 2,200円 | 6,300円  | 12,000円 |



■問合せ：東近江市都市整備部公共交通政策課 電話 0748-24-5658 | P 050-5801-5658

## 子ども食堂「<sup>わっか</sup>かふえ和」の紹介

■開催日時：毎月第4日曜日 10:30~14:00 (会場都合で変更有)  
< 4月24日(日)・5月22日(日)・6月26日(日) >

■場 所：能登川コミュニティセンター

■内 容：子ども食堂、勉強と遊びのひろば等… 人とつながる場所として、  
温かいご飯をおなかいっぱい食べて、遊んで、勉強もして…♪  
お気軽にお立ち寄りください♪  
お手伝いいただける方もお待ちしております!!

■主 催：おかげ SUN のとが和

■協 賛：(一社)能登川地区まちづくり協議会

■連絡先：okage3.notogawa@gmail.com (大辻典子)



## 令和4年度 助成対象公益目的事業の募集!

■公益財団法人 五峰興風会

能登川地区で公益目的事業に取り組んでおられる団体への資金助成を行っています。下記要領で、令和4年度の公募を実施します。多くの関係団体からのご応募をお待ちしています。

### <公 募 要 領>

- 対象事業：能登川地区を中心とする付近一帯の住民の幸福維持増進ならびに地区自治の発展に寄与する公益目的事業
  - ① 教育、スポーツ、文化、芸術等の振興を目的とする事業
  - ② 児童または青少年の健全な育成を目的とする事業
  - ③ 高齢者、障害者等の支援または福祉の増進を目的とする事業

●応募期間：令和4年4月1日(金)~令和4年5月15日(日)

●応募資格：能登川地区において、対象となる公益目的事業を行う団体

●助成額：公益目的事業実施に要する資金の半額まで(上限50万円/事業)

●審査・給付：選考委員会の審査を経て決定し、7月上旬に給付の予定



五峰興風館(佐野町23番地)

財団では、財団事務所「五峰興風館」の展示室・ホール等の施設貸与(原則無償)も行っています。詳しくは財団のホームページをご覧ください。いずれもお問い合わせは、ホームページ内のメールフォームまたはFAXにてお願いします。(URL: <http://gohoukouhuukai.com> TEL/FAX: 0748-42-3901)

# 能登川のむかし話

【シリーズ27】

## 岩船でのご臨降の氏神

猪子の上山天満神社の祭神は、縁起によりまずと、神亀年間、高島の比良の山麓より岩船で湖上を渡られ、渡船が、猪子山麓の勝管の岩屋に入られた比良大神であると言われています。この神が岩屋につかされると、一夜のうちに峰には、古松がなびき、谷々に老杉が繁ったと伝えられ、その後、長徳元年、菅原道真公の御霊を合祀して、現在の神社となっています。

上山天満宮は、猪子、山路、佐野、垣見、林など、垣見荘五ヶ村の合祀社で、むかしは、猪子山山麓の上山天満宮で合同の祭事が行われていたようです。そのあとを物語るように、上山天満宮の拝殿の土間が桂によって三つに仕切られ、猪子、山路、佐野の神輿が土間の内側に、垣見、林の神輿が外側におかれて、祭事が進められたと言われています。



また、当時は、安楽寺（安楽寺）と善勝寺（佐野）の住職が交互に祭事を司ったと書かれ、神仏混淆の様子が見え、うかがえます。

出典：「能登川のむかし話」

昭和55年能登川町教育委員会

## 「能登川のむかし話」を検証 ～猪子山へ行ってきました～



山麓の鳥居をくぐり山道を登るとすぐ、平安時代に創建された上山天満天神社の境内社である岩船神社と、船の形をした岩が見えてきます。とても水に浮かぶとは思えない巨石ですが、この岩船に乗って、高島の比良大神（白髭明神）が湖上を渡ってきたというお話が古文書にも残っているようです。

辺りは老杉や古松のご神木に囲まれ、冬の澄んだ空気に静寂を保っていました。

（広報部：K&I）



上山天満天神社



岩船

## 新リーフレット完成!!

令和4年は聖徳太子<sup>こうきよ</sup>薨去1400年。地元の資源発掘と活性化の推進に役立つよう「聖徳太子と猪子山三観音」のリーフレットを制作しました。ご覧いただき一度お訪ねになられてはいかがでしょうか。

既存の「ふるさと散歩道」リーフレットとともに能登川コミュニティセンター・JR能登川駅など主要箇所に設置しております。

■（一社）能登川地区まちづくり協議会 ふるさと散歩道事業部



## 新しいお友だちをつくろう!!

みんなで一緒におしゃべり、歌、体操、ゲームを...

## おしゃべりカフェ「すまいる」

■会場：能登川コミュニティセンター多目的室4（3F）

■時間：9:30～12:00

■参加費：200円（茶菓子込）

開催日 <変更の節はご了承ください>

4月15日(金)・5月20日(金)・6月17日(金)

7月15日(金)・8月19日(金)・9月16日(金)



■問合せ：（一社）能登川地区まちづくり協議会  
健康福祉事業部  
IP 050-5802-2793（まち協事務局）

## 地域のイベント

### やわらぎの郷公園

#### さくらを観る日

時 4月2日(土)～3日(日) 9:00～16:00

¥無料

\* 飲酒・喫煙・ペットの入園は禁止です。

#### こどもの日

時 5月5日(木・祝) 9:00～16:00

芝生広場・親子広場自由にお楽しみください。

※記号の説明 時＝日時 ¥＝費用

## 新年度会員募集のお知らせ

### NPO法人 能登川総合スポーツクラブ



能登川総合スポーツクラブ事務局において受付中です!

★更新の方は、現在ご使用の会員証をご持参ください。

★新規の方、大歓迎♪

■問合せ：クラブ事務局  
(能登川アリーナ内)  
TEL0748-42-8400

各教室の  
活動内容  
QRコード→

